F&A AQUA holdings,inc.

平成24年２月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年１月６日

上 場 会 社 名　株式会社Ｆ＆Ａアクアホールディングス　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　8008　URL　http://www.fa-aqua.co.jp/
代　表　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）木村　祭氏
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役業務担当　（氏名）岩森　真彦　TEL 03－5719－3429
四半期報告書提出予定日　平成24年１月13日　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成24年２月期第３四半期の連結業績（平成23年３月１日～平成23年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年２月期第３四半期	32,954	△0.6	2,114	55.8	2,312	35.9	1,100	209.3
23年２月期第３四半期	33,154	△5.0	1,357	0.1	1,701	25.3	355	△21.2

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年２月期第３四半期	39 75	―
23年２月期第３四半期	12 72	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年２月期第３四半期	52,390	37,981	72.5	1,377 79
23年２月期	51,387	37,816	73.6	1,355 25

（参考）　自己資本　24年２月期第３四半期　37,967百万円　23年２月期　37,808百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年２月期	―	10 00	―	10 00	20 00
24年２月期	―	10 00			
24年２月期（予想）				11 00	21 00

（注）当四半期における配当予想の修正有無　有
24年２月期期末配当金の内訳　普通配当　10円00銭
特別配当　1円00銭

３．平成24年２月期の連結業績予想（平成23年３月１日～平成24年２月29日）

（%表示は、通期は対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	45,500	△2.0	3,150	26.0	3,550	19.2	1,550	56.4	55 98

（注）当四半期における業績予想の修正有無　無

４．その他　（詳細は、【添付資料】P.４「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　　無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更　：有

②　①以外の変更　：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年２月期３Ｑ	29,331,356株	23年２月期	30,331,356株
②　期末自己株式数	24年２月期３Ｑ	1,774,475株	23年２月期	2,433,418株
③　期中平均株式数(四半期連結累計期間)	24年２月期３Ｑ	27,689,031株	23年２月期３Ｑ	27,981,355株

（注）自己株式数については、当四半期連結会計期間末にＦ＆Ａアクアホールディングス従業員持株会信託口が所有する当社株式347,900株を含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.３「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 2
(1)　連結経営成績に関する定性的情報 2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報 3
(3)　連結業績予想に関する定性的情報 3
２．その他の情報 4
(1)　重要な子会社の異動の概要 4
(2)　簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 4
(3)　会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 4
３．四半期連結財務諸表 5
(1)　四半期連結貸借対照表 5
(2)　四半期連結損益計算書 7
(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書 9
(4)　継続企業の前提に関する注記 11
(5)　セグメント情報 11
(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 12

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響があったものの、復興需要や生産活動の回復により緩やかな景気持ち直しの動きが見られました。しかしながら、原子力災害の影響に加え、欧州の債務危機や長引く円高の影響、株価の低迷等もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

流通業界におきましては、震災直後大きく冷え込んだ消費者マインドは復調傾向にあるものの、雇用情勢の停滞や所得環境の低迷により、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、第２次中期経営計画最終年度となる2011年度、信頼性の高い企業グループの構築とグループ価値の向上を目指し、事業ごとの重点課題に取り組んでまいりました。

その結果、当第３四半期連結累計期間の連結業績は、営業収益329億54百万円（前年同期比0.6％減）、営業利益21億14百万円（前年同期比55.8％増）、経常利益23億12百万円（前年同期比35.9％増）、四半期純利益11億円（前年同期比209.3％増）となりました。

（注）営業収益は、「売上高」と「その他の営業収入」を合計しております。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

（エフ・ディ・シィ・プロダクツグループ）

エフ・ディ・シィ・プロダクツグループにおきましては、主力の「４℃」（ヨンドシィ）ジュエリーが、ブライダルショップの積極的な出店と既存店舗の活性化により好調に推移したことや、「canal ４℃」（カナルヨンドシィ）も引き続き成長を維持したこと等により、売上高、利益高ともに好調に推移いたしました。

その結果、営業収益は150億15百万円、営業利益は17億62百万円となりました。

（アスティグループ）

アスティグループにおきましては、ＯＥＭ事業を中心としたアパレルメーカー事業の強化により売上高の拡大に取り組んでまいりました。主力得意先との取り組みが順調に推移したことや、新規得意先の開拓と取引が拡大したこと等により、売上高、利益高ともに堅調に推移いたしました。

その結果、営業収益は74億15百万円、営業利益は３億65百万円となりました。

（三鈴）

㈱三鈴におきましては、ブランド価値向上を目指し、ブランドの再編による商品力の強化や主力商品を軸としたコーディネート提案と服飾雑貨の強化に努めました。プロパー消化率の向上と経費削減が奏功し、利益高が大幅に改善いたしました。

その結果、営業収益は49億１百万円、営業利益は１億73百万円となりました。

（アージュ）

㈱アージュにおきましては、売上高の拡大と利益体質の強化に取り組んでまいりました。「パレット」「LOU」（ルウ）の既存店売上高が前年同期を上回り堅調に推移したことや、荒利益率の向上、「ラポール」における損益改善が進んだこと等により、売上高、利益高ともに前年同期を上回りました。

その結果、営業収益は56億22百万円、営業利益は96百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末における財政状態につきましては、資産は主に、商品及び製品が17億36百万円増加したこと及び受取手形及び売掛金が10億94百万円増加したものの、投資有価証券が４億31百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して10億３百万円増加し523億90百万円となりました。負債は主に、短期借入金が10億１百万円増加したこと及び支払手形及び買掛金が６億10百万円増加したものの、未払法人税等が６億30百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して８億38百万円増加し144億９百万円となりました。純資産は前連結会計年度末と比較して１億65百万円増加し379億81百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して71百万円増加し、５億74百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、５億１百万円の収入（前年同期比５億19百万円の減少）となりました。これは主に、仕入債務の増加額の減少８億25百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、３億56百万円の支出（前年同期比５億97百万円の増加）となりました。これは主に、固定資産の売却による収入が１億46百万円増加したこと及び固定資産の取得による支出が１億33百万円減少したこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、69百万円の支出（前年同期比１億91百万円の減少）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出が２億86百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月11日に公表した連結業績予想から変更はありません。

２．その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第３四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 持分法に関する会計基準及び持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

第１四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年３月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号平成20年３月10日）を適用しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

② 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年３月24日 内閣府令第５号）の適用により、当第３四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

３．　四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成23年11月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成23年２月28日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	574,130	452,901
受取手形及び売掛金	4,404,163	3,310,090
商品及び製品	6,822,503	5,086,013
仕掛品	163,020	522,351
原材料及び貯蔵品	430,858	421,913
その他	1,026,239	1,084,451
貸倒引当金	△7,385	△4,683
流動資産合計	13,413,531	10,873,038
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,706,874	5,707,350
土地	5,891,952	5,994,953
その他（純額）	483,578	467,285
有形固定資産合計	12,082,405	12,169,588
無形固定資産		
のれん	7,402,675	7,795,492
その他	259,079	255,780
無形固定資産合計	7,661,755	8,051,273
投資その他の資産		
投資有価証券	13,030,338	13,462,293
前払年金費用	1,991,495	1,992,984
その他	4,806,799	5,437,089
貸倒引当金	△595,464	△599,044
投資その他の資産合計	19,233,168	20,293,323
固定資産合計	38,977,329	40,514,185
資産合計	52,390,860	51,387,224

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成23年11月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成23年２月28日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,748,749	4,138,660
短期借入金	2,677,700	1,676,604
未払法人税等	311,391	941,945
賞与引当金	511,116	469,848
役員賞与引当金	42,516	50,450
その他	2,500,351	2,487,201
流動負債合計	10,791,825	9,764,710
固定負債		
長期借入金	576,345	733,130
退職給付引当金	537,920	533,050
役員退職慰労引当金	394,903	369,511
資産除去債務	807,352	765,013
その他	1,301,041	1,405,530
固定負債合計	3,617,562	3,806,236
負債合計	14,409,387	13,570,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,486,520	2,486,520
資本剰余金	18,300,303	18,300,303
利益剰余金	18,850,908	19,130,875
自己株式	△1,376,567	△1,943,930
株主資本合計	38,261,164	37,973,769
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	23,617	145,764
繰延ヘッジ損益	1,325	△2,555
土地再評価差額金	△264,512	△264,512
為替換算調整勘定	△53,960	△43,665
評価・換算差額等合計	△293,529	△164,969
新株予約権	12,097	5,483
少数株主持分	1,739	1,994
純資産合計	37,981,472	37,816,277
負債純資産合計	52,390,860	51,387,224

(2) 四半期連結損益計算書
【第３四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年３月１日 至　平成22年11月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年11月30日）
売上高	32,230,598	32,198,292
売上原価	15,095,688	14,997,184
売上総利益	17,134,909	17,201,108
その他の営業収入	923,404	756,459
営業総利益	18,058,314	17,957,568
販売費及び一般管理費	16,700,901	15,842,986
営業利益	1,357,413	2,114,581
営業外収益		
受取利息	2,485	1,867
受取配当金	38,804	39,811
持分法による投資利益	97,989	22,514
投資不動産賃貸料	80,125	70,830
為替差益	15,298	10,606
投資有価証券割当益	32,236	－
助成金収入	63,558	61,432
その他	63,381	33,240
営業外収益合計	393,878	240,302
営業外費用		
支払利息	33,135	24,246
その他	16,565	18,069
営業外費用合計	49,701	42,315
経常利益	1,701,591	2,312,568
特別利益		
固定資産売却益	560	585
投資有価証券売却益	11,726	0
貸倒引当金戻入額	7,864	668
過年度消費税等還付額	－	121,027
特別利益合計	20,151	122,281
特別損失		
固定資産売却損	－	23,386
固定資産除却損	75,250	21,713
投資有価証券売却損	2,171	－
投資有価証券評価損	184,506	163,299
減損損失	184,049	20,783
店舗閉鎖損失	4,766	13,971
事務所閉鎖損失	37,700	－
災害損失	－	42,910
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	490,550	－
その他	－	1,061
特別損失合計	978,995	287,125
税金等調整前四半期純利益	742,747	2,147,724

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年３月１日 至　平成22年11月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年11月30日）
法人税、住民税及び事業税	820,639	657,278
過年度法人税等	－	61,138
法人税等調整額	△433,605	328,845
法人税等合計	387,033	1,047,261
少数株主損益調整前四半期純利益	－	1,100,462
少数株主損失（△）	△155	△254
四半期純利益	355,869	1,100,717

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成22年３月１日 至 平成22年11月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成23年３月１日 至 平成23年11月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	742,747	2,147,724
減損損失	184,049	20,783
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	490,550	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△47,436	△878
賞与引当金の増減額（△は減少）	108,423	41,268
退職給付引当金の増減額（△は減少）	24,806	7,033
その他の引当金の増減額（△は減少）	16,809	17,457
受取利息及び受取配当金	△41,289	△41,678
支払利息	33,135	24,246
持分法による投資損益（△は益）	△97,989	△22,514
為替差損益（△は益）	△29,009	△9,869
投資有価証券売却損益（△は益）	△9,554	△0
投資有価証券評価損益（△は益）	184,506	163,299
固定資産除却損	75,250	21,713
固定資産売却損益（△は益）	△560	22,800
売上債権の増減額（△は増加）	△980,255	△1,090,836
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,397,840	△1,386,842
仕入債務の増減額（△は減少）	1,435,374	610,329
その他流動資産の増減額（△は増加）	439,718	－
その他	1,280,056	1,152,973
小計	2,411,492	1,677,008
利息及び配当金の受取額	150,053	150,443
利息の支払額	△31,862	△23,892
法人税等の支払額	△1,508,133	△1,301,618
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,021,550	501,940

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年３月１日 至　平成22年11月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年11月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△801,514	△667,593
固定資産の売却による収入	900	147,518
投資有価証券の取得による支出	△18,475	△12,140
投資有価証券の売却による収入	62,350	0
その他	△197,042	175,938
投資活動によるキャッシュ・フロー	△953,781	△356,276
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	510,000	1,040,000
長期借入れによる収入	487,000	－
長期借入金の返済による支出	△167,918	△195,689
社債の償還による支出	△10,000	－
自己株式の取得による支出	△20,210	△306,379
配当金の支払額	△586,738	△585,983
その他	△89,957	△21,719
財務活動によるキャッシュ・フロー	122,175	△69,772
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,835	△4,663
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	188,109	71,228
現金及び現金同等物の期首残高	518,261	502,901
現金及び現金同等物の四半期末残高	706,370	574,130

(4)　継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5)　セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　平成22年３月１日　至　平成22年11月30日）

	ブランド事業（千円）	アパレルメーカー事業（千円）	リテール事業（千円）	ホールセール事業（千円）	ディベロッパー事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	13,471,760	4,278,596	12,117,469	2,374,732	911,444	33,154,003	－	33,154,003
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	5,406	849,521	96,680	484,817	112,928	1,549,355	(1,549,355)	－
計	13,477,167	5,128,118	12,214,149	2,859,550	1,024,372	34,703,359	(1,549,355)	33,154,003
営業利益又は営業損失(△)	1,479,341	△24,714	△14,603	△14,118	168,272	1,594,176	(236,763)	1,357,413

（注）１　売上高には、「その他の営業収入」を含んでおります。
２　事業区分は製品の種類・性質及び販売方法の類似性を考慮し、区分しております。
３　各事業の主要な製品等
(1) ブランド事業……ジュエリー、バッグ等の企画・製造・販売
(2) アパレルメーカー事業……バッグ、紳士、婦人、ベビー、靴下、玩具等の企画・製造・販売及びＯＥＭ
(3) リテール事業……婦人服等の企画・製造・販売、紳士服、子供服、実用(肌着・靴下等)、服飾品、寝装品、和装品、その他の販売及び飲食業
(4) ホールセール事業……婦人服、紳士服、子供服、実用(肌着・靴下等)、服飾品、寝装品、その他の卸売
(5) ディベロッパー事業……複合ビルテナント料、その他
４　会計方針の変更
（資産除去債務に関する会計基準の適用）
第１四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日)を適用しております。
この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第３四半期連結累計期間の営業利益はブランド事業7,439千円、アパレルメーカー事業2,249千円、リテール事業9,639千円、ホールセール事業640千円、ディベロッパー事業8,307千円それぞれ減少しております。

【所在地別セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　平成22年３月１日　至　平成22年11月30日）

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90％を超えているため、その記載を省略しております。

【海外売上高】

前第３四半期連結累計期間（自　平成22年３月１日　至　平成22年11月30日）

海外売上高が連結売上高の10％未満のため、その記載を省略しております。

【セグメント情報】

１　報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、㈱エフ・ディ・シィ・プロダクツ、㈱アスティ、㈱三鈴及び㈱アージュの４事業会社を軸とする総合ファッション企業として事業活動を展開しております。

当社グループは連結子会社を基礎とした事業別セグメントから構成されており、「エフ・ディ・シィ・プロダクツグループ」、「アスティグループ」、「三鈴」及び「アージュ」の４事業を報告セグメントとしております。

「エフ・ディ・シィ・プロダクツグループ」では、「４℃」ジュエリーを中心としたブランドＳＰＡ事業、飲食事業を行っております。

「アスティグループ」では、主にＯＥＭ事業を中心としたアパレルメーカー事業、ホールセール事業及びディベロッパー事業を行っております。

「三鈴」では、レディスアパレルＳＰＡ事業を行っております。

「アージュ」では、西日本を中心としてファッション分野でリテール事業を行っております。

２　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第３四半期連結累計期間（自　平成23年３月１日　至　平成23年11月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	エフ・ディ・シィ・プロダクツグループ	アスティグループ	三鈴	アージュ	計		
営業収益							
外部顧客への営業収益	15,015,133	7,415,631	4,901,669	5,622,317	32,954,752	－	32,954,752
セグメント間の内部営業収益又は振替高	17,327	1,094,220	45,054	138,229	1,294,831	△1,294,831	－
計	15,032,461	8,509,851	4,946,724	5,760,546	34,249,584	△1,294,831	32,954,752
セグメント利益	1,762,010	365,087	173,203	96,057	2,396,359	△281,778	2,114,581

（注）１　セグメント利益の調整額△281,778千円は、主に各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な減損損失はございません。

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。